



**明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。**



★みんなで成長する3学期に★

(以下、3学期始業式式辞より抜粋)

こうして、みなさんの元気な顔を見ながら3学期の始業式を行えることを、大変うれしく思います。冬休み中に、困ったことや不安なことはありませんでしたか。あった人は、話しやすい先生に遠慮なく相談してください。

さて、新しい年を迎え、目標や抱負を考えた人も多いことと思います。今日は、校長として、みなさんに「こんな3学期にしてほしい」という思いを、学年ごとに伝えます。

1年生には、「良いところを見つける目」を育ててほしいと思います。

四月からは上級生になります。これまでは、上級生の姿を見て行動すればよかったかもしれませんが、これからは、自分たちだけでなく、下級生のことも考えて行動する立場になります。そのために大切なのが、自分自身の良いところや、周りの人の良いところを見つけ、認めることです。その「見る目」は、下級生を支え、育てる力にもなり、同時に自分自身を大きく成長させてくれます。

2年生には、「発信源」になってほしいと思います。

今日から、さまざまな場面で、みなさんが鳶ヶ池中学校を引っ張っていく存在になります。やるべきことをやり遂げる力は、すでに十分身に付いています。ただ、学校のリーダーとして考えると、「もっと意見を言えるのではないか」「もっと挑戦したいことがあるのではないか」と感じる場合があります。自信がなかったり、周りの反応を気にしたりして、遠慮している人もいるかもしれません。

これからは、みなさん一人一人の考えや行動が、鳶ヶ池中学校をつくっていきます。鳶ヶ池中学校を今よりもっと魅力ある学校にしていくために、自ら発信できる最上級生になるための大切な準備期間として、この3学期を過ごしてください。その姿は、3年生が安心して進路に向かう力にもなります。

3年生には、「進路に向かう姿」で下級生を引っ張ってほしいと思います。

これまで、最上級生として学校を支え、下級生を引っ張ってくれたことに、心から感謝しています。これから、生徒会活動など、前に立つ役割は2年生が中心になりますが、みなさんには、自分の進路に真剣に向き合う姿を見せてほしいと思います。

これまでに感じたことのないプレッシャーを感じることもあるでしょう。しかし、努力した分だけ、目標には必ず近づきます。その姿は、下級生にとって大きなお手本となり、心の支えにもなります。私も、いつも応援しています。校長室の扉が開いているときは、いつでも相談に来てください。

さて、今日を含めて、学校に登校する日は、3年生は卒業式まであと42日、1・2年生は修了式まで50日です。あっという間に過ぎていく日数ですが、今のみなさんが成長するには、十分な時間でもあります。

一日一日を大切にしながら、みんなで成長していく、そんな3学期にいきましょう。

保護者の皆様、今年度もあと3ヶ月。短いけれど、大切な期間です。冬休み中に気になることはありませんでしたか。保護者の不安は、子どもに伝わります。小さなことでもかまいません。私たちに相談して下さい。子どもにとって一番良い方法を、いっしょに考え、成長を支えていきましょう！